

海の日ごみゼロアクション2017 〈報告レポート〉

1.コドモ海フェス2017

1.コドモ海フェス2017

①イベント概要

7月17日「海の日」。

この日を過ぎた頃から、全国各地の子どもたちは夏休みに入ります。

海の日とは「海の恩恵に感謝する日。」として、1996年から施行された日本国民の祝日です。

しかし、現代の子どもたちの多くは、この祝日の意味を知りません。

そこで今回、

「自分たちの生活は“海”によって支えられている。海に感謝し、
自分たちの手でこの海を守っていかねばならない。」

ということを多くの子どもたちに実感してもらうために、

「海を学び、味わい、キレイにする。」

この3つの要素を組み込んだイベントとして、7月17日の海の日、東京・お台場にて「コドモ海フェス」（入場無料）を開催しました。

開催日時：7月17日（月）11：00～18：00

開催会場：青海J地区特設会場（江東区青海2-1）

来場者数：864人



「コドモ海フェス」ロゴマーク

②事前告知・集客

【イベント告知チラシ】

会場近郊のお台場・有明・豊洲エリアを中心に、商業施設やホテル、幼稚園や小学校、児童館などの教育機関などに対してチラシの配布活動を定期的に行っていました。

また、折り込みチラシとして7/15の朝刊にて投函。

【メディアでの告知】

HP公開のタイミングに合わせて、弊団体のHPやメルマガ、twitterやfacebook等のSNSで告知を図った他、フェスに登壇される方々にも各個人やグループのSNSで告知をおこなって頂きました。

また、渋谷のコミュニティFM「シブヤのラジオ」やJ-WAVE「WONDER VISION」においても告知をおこないました。

【当日の集客】

ボランティアスタッフが、会場の最寄り駅である青海駅・東京テレポート駅にて、通行人に呼びかけ&チラシ配布をおこないました。



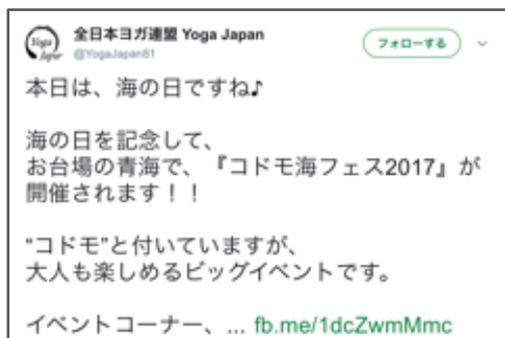
告知チラシ



ラジオでの告知



ブース出展団体制作の告知チラシ



フェス登壇者によるSNS告知投稿

③協力企業・団体

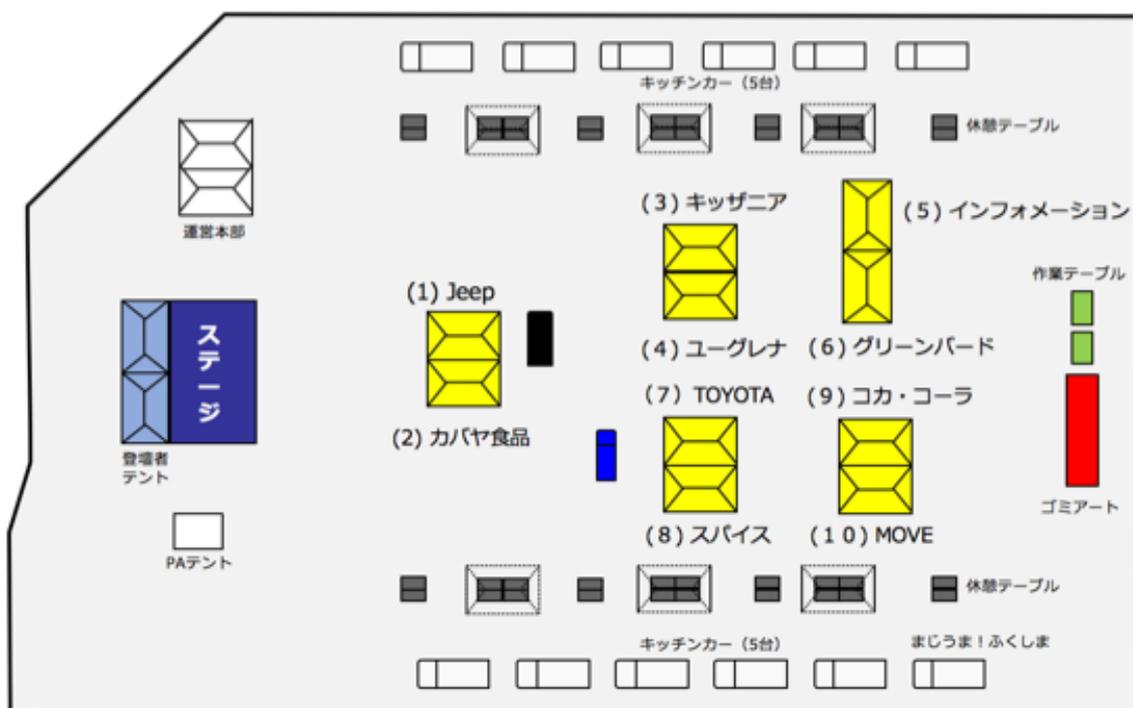
- ・企業、NPO団体によるブース出展
子ども向けの海に関する内容をテーマにしたコンテンツを、各企業がブースを出展しておこなう。

<参加企業&出展内容>

- ①キッズニア豊洲・・・哲学教室「海のためにできること」
- ②コカ・コーラ株式会社・・・CSR活動紹介、商品販売、
- ③Jeep・・・森の保全プロジェクトの活動紹介、車両展示
- ④株式会社ユーグレナ・・・ミドリムシの観察、商品サンプリング
- ⑤トヨタ自動車株式会社・・・AQUA SOCIALFESの活動紹介、車両展示
- ⑥株式会社スパイス・・・コークシクルの展示販売、ゴミ拾いゲーム
- ⑦カバヤ食品株式会社・・・熱中症対策の「塩分タブレット」サンプリング



企業出展ブース



会場レイアウト図

- ・ライブパフォーマンス&トークショー
海や子どもに親和性の高いゲストをお呼びし、会場内にある特設ステージにて様々なコンテンツを実施しました。

◆トークショー

①～海の街「福島県いわき」の今～

登壇者：NPO法人MOVE×金成孝典氏（福島県東京事務所長）

②～海の環境問題について自分たちが出来ること～

登壇者：山田 彩乃（ミスアース2015日本代表）

大谷 遼太郎（トライアスリート）

◆パフォーマンス

登壇者：ALEG-Re（フリースタイルフットボール）

REGSTYLE（ダブルタッチ）

Brilliant Mermaid（キッズダンス）

全日本ヨガ連盟（親子キッズヨガ教室）

◆音楽ライブ

登壇者：雨宮まあ子、Fis Block



11:00	開場
11:20~11:40	オープニングセレモニー
12:00~12:30	トークショー 福島・いわき海の街からのメッセージ (NPO法人 MOVE)
13:00~13:30	ライブ アーティスト 雨宮まあ子
13:30~14:00	パフォーマンス フリースタイルフットボール ALEG-Re
14:20~14:50	親子ヨガ教室 一般社団法人全日本ヨガ連盟
15:00~15:30	キッズダンスショー Kurassyi BrilliantMermaid
15:30~16:00	トークショー 「海の環境問題について ～2020年東京オリンピックに向けて～」 トライアスリート 大谷遼太郎 ミスアース2015日本代表 山田彩乃 ミスアース2017埼玉代表 道京莉羅 NPO法人greenbird代表 横尾俊成
16:00~16:30	ダブルタッチ REGSTYLE
16:50~17:30	ライブ アーティスト Fis block
17:30~17:50	クロージングセレモニー

タイムテーブル

④ごみアート

- ・フェス開催中に2回のごみ拾い体験ツアーを実施し、自らの手で拾ったごみや、会場内で出たごみを使用し、そのごみに好きな色を塗り、巨大な魚の形になるように壁にごみを貼って、参加者みんなでひとつのアートを制作しました。
- ・街中にはこれだけ多くのごみが落ちていること、そのごみの多くが缶やペットボトルなど生活ごみであるということ、子どもたちに身をもって体感してもらおうことができました。

